

新刊図書案内

表 題	編 著 者	出 版 者	出版年月	定 価	ISBN	備 考
土壌圏と地球環境問題	木村真人	名古屋大学出版会	1997.02	¥5,000	4-8158-0314-5	
海洋生物と炭素循環	鈴木 款	東京大学出版会	1997.03	¥4,500	4-13-060201-2	
測候時報第64巻特別号 海洋気象特集 新海洋観測システム	気象庁	気象業務支援センター	1997.03	¥1,651		気象業務支援センター Tel. 03-5281-0440 Fax. 03-5281-0443
徳島県自然災害誌	徳島地方气象台	徳島県	1997.03	非売品 閲覧可		徳島地方气象台 防災業務課 Tel. 0886-26-0676
いま、地球になにがおこっているの？ 1： ちきゅうは、あつぎ	高松良己	文研出版	1997.04	¥3,100	4-580-81173-9	
いま、地球になにがおこっているの？ 2： へんしんする、あめ	吉本 宗	文研出版	1997.04	¥3,100	4-580-81174-7	
気象予報士のための数学・物理の基礎	気象業務支援センター	気象業務支援センター	1997.09	¥1,143		気象業務支援センター Tel. 03-5281-0440 Fax. 03-5281-0443
最新季節予報テキスト 平成9年版： エルニーニョ現象の予測に向けて	気象庁	気象業務支援センター	1997.09	¥1,143		気象業務支援センター Tel. 03-5281-0440 Fax. 03-5281-0443
カエルや魚が降ってくる！ 気象と自然の博物誌	J. デニス	新潮社	1997.10	¥2,200	4-10-536101-5	
最新数値予報テキスト 平成9年版： 領域モデル (RSM) の予報とガイダンスの検証と課題	気象庁	気象業務支援センター	1997.10	¥1,143		気象業務支援センター Tel. 03-5281-0440 Fax. 03-5281-0443
水文・水資源ハンドブック	水文・水資源学会	朝倉書店	1997.10	¥32,000	4-254-26136-5	
地球温暖化日本はどうなる？	環境庁地球環境部	読売新聞社	1997.10	¥900	4-643-97122-3	
気候変動	T. E. グレーデル P. J. クルツェン	日経サイエンス社	1997.11	¥3,500	4-532-52063-0	
このままだと「20年後の大気」はこうなる	和田 武 石井 史	カタログハウス	1997.11	¥362	4-905943-37-X	
酸性雨 地球環境の行方	環境庁地球環境部	中央法規出版	1997.11	¥3,300	4-8058-4112-5	
ストップ・フロン 地球温暖化を防ぐ道	石井 史 西菌大実	コモンズ	1997.11	¥1,700	4-906640-04-4	
地球温暖化とCO ₂ の恐怖	さがら邦夫	藤原書店	1997.11	¥2,800	4-89434-084-4	
データ同化の現状と展望	気象庁	気象業務支援センター	1997.11	¥1,524		気象業務支援センター Tel. 03-5281-0440 Fax. 03-5281-0443

気象衛星画像の見方と利用	鈴木和史ほか	気象業務支援センター	1997.12	¥953		気象業務支援センター Tel. 03-5281-0440 Fax. 03-5281-0443
天気予測の統計的検証と評価	平沢正信	気象業務支援センター	1997.12	¥477		気象業務支援センター Tel. 03-5281-0440 Fax. 03-5281-0443

注：表中で定価はすべて本体価格です。

国際学術研究集会への出席補助金受領候補者の募集のお知らせ

—国際学術交流委員会—

国際交流事業（天気32巻5号p232）の一環として国際学術交流運用規定（天気41巻7号p444）に基づき、国際学術研究集会への旅費もしくは滞在費の補助を下記により行いますので、希望者は期日までに応募願います。

記

1. 対象の集会

- A：1998年6月1日～11月30日および
B：1998年12月1日～1999年5月31日の期間外国で開かれる国際学術研究集会

2. 応募資格

日本気象学会会員で国際学術研究集会に出席し論文の発表もしくは議事の進行に携わる予定のもの。ただし、ほかから援助のあるものは除く。

3. 募集人員

若干名

4. 補助金額

開催地域を考慮し最高15万円程度

5. 応募手続

所定の申請書類を期日までに国際学術交流委員会（〒100 東京都千代田区大手町1-3-4 気象庁内日本気象学会気付）に提出する。大学院生は指導教官の推薦状を併せて提出する。

期日：A 1998年3月15日

B 1998年9月15日

注：申請書は最新の様式のもを日本気象学会事務局から取り寄せるか、気象学会ホームページにあるものを使用すること。申請書の様式は断りなく変更することがある。古い様式の申請書で応募しても受理しない。e-mailでの申請は受け付けない。

6. 補助金受領者の義務

当該集会終了後30日以内に集会出席の概要を「天気」に掲載可能な形式で1ページ（2000字）程度にまとめ、報告書として委員会に提出する。